

令和7年度進路指導担当者等連絡会議

茨城地方協力本部（本部長・栗秋1空佐）は、6月13日（金）、陸上自衛隊土浦駐屯地において、令和7年度進路指導担当者等連絡会議を実施した。

進路指導担当者等連絡会議は、茨城県内の高等学校及び専門学校等の進路指導者を招き、自衛隊の概要及び自衛官募集について説明し、募集基盤の拡充を図ることを目的に毎年実施している。

今年度は、陸上自衛隊武器学校の支援を受け、通信制の高等学校も含めた43校46名の教諭にご参加いただき、自衛官の処遇、生活・勤務環境の改善を含めた採用制度及び再就職支援制度の説明を実施するとともに、体験喫食及び駐屯地の広報資料館研修を実施した。

参加教諭からは「自衛隊の色々な制度等について知ることができた。」「東京消防庁・神奈川県警との再就職に関する連携について興味を引いた。」などの自衛隊に対する前向きな感想を聞くことができた。

茨城地方協力本部は、通信制高校を含めた新たなソースの開拓を進めるとともに、募集と援護の相乗効果の発揮に努める所存である。



令和7年度出陣式

茨城地方協力本部（本部長・栗秋1空佐）は、6月30日（月）、令和7年度出陣式を実施した。

出陣式は、7月1日（火）の募集解禁に向けて茨城地方協力本部全隊員が一丸となって取り組むため毎年実施している。

出陣式において、海老原募集課長が「各自プラスの気持ちを持って、2025人の志願者を目指す。先日、知恵の神様を祀る神社において、募集目標達成のための知恵を授けて下さいと願いをかけたので、募集施策が思いついたら、それは神様のお告げであると思ってもらいたい。」と決意表明の後、勝ち鬨を挙げた。本部長は、「各部隊は、執念の能動を發揮して、一所懸命にプラスを目指し、各指揮官は鳥の目で部下をみてもらいたい。茨城地方協力本部の目標達成は、団体戦であるから、上司及び相互間でしっかり情報共有を図ってもらいたい。」と訓示した。

茨城地方協力本部は、『能動』、『相乗』を發揮しつつ『信頼』と『循環』に努め、募集目標達成に邁進する所存である。

